

## 2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 3 月 31 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	川崎 知己
研究課題	スクールカーストについての教員の介入等と児童生徒の乗り越え方について				
研究キーワード	スクールカースト 教員の指導 教員の介入	当年度計画に対する達成度	1.目標を超える研究の進展・成果を達成した		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	3. すべての人に健康と福祉を	16. 平和と公正をすべての人に	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本研究は、生徒の学校適応等に負の側面があると指摘されている学級内のグループ間に地位格差が生じる現象（「スクールカースト」）に着目し、教員がこの現象にどのような対応が重要であるかを探索的に捉えることを目的とした。調査にあたっては、「スクールカースト」を「学級内におけるグループ間の脅威的地位格差」と定義し、大学生 15 名を対象として、「スクールカースト」経験の受け止め方、生徒からみた教員の対応等をインタビューした。インタビューの内容を逐語に起こし、M-GTA（修正版グランデッドセオリーアプローチ）を用いて分析した。M-GTA による分析にあたり、データに根ざした分析が可能になるように、分析テーマを『スクールカースト』の発生及び未然防止・低減・解決等の各プロセスにおける要因」と設定した。分析テーマを設定した後、データの関連箇所に着目し、それを一つの具体例(ヴァリエーション)とし、かつ、他の類似具体例をも説明できると考えられる説明概念を生成した。結果は、『スクールカースト』の発生及び未然防止・低減・解決等の各プロセスにおける要因』のデータの範囲を集められた 554 事例のデータに限定して、その中で「理論的飽和化」を図った。また、分析ワークシートを用いて概念を生成したところ、86 の概念が生成され、そこから 30 のサブカテゴリー、さらには 11 の上位カテゴリーが生成された。</p> <p>複数の概念の関係からなるカテゴリーを生成し、カテゴリー相互の関係から分析結果をまとめ、その概要をストーリーラインとして簡潔に文章化し、さらに結果図を作成し、「スクールカースト」の発生・進行・現象化、または未然防止・低減・解決等に至るプロセスと各要因に関するモデルを構築した。</p> <p>その結果、多様な生徒で構成されている学級において、教員が階層化の兆しや進行を認識するかしないか、認識したとしても、その後に教員がどのように動くかが、「脅威的階層性学級（スクールカースト）」に影響を与えることが明らかになった。『階層化への不認識』や『階層化への認識』がありつつも、『介入・指導回避』、『階層化を助長する対応』が、『脅威的階層性学級（スクールカースト）』につながり、一方、『階層化への認識』の有無にかかわらず、教員の『居場所と絆づくりの学級経営』や、『階層性の発生防止・介入』が、『安心で健全な学級』につながることを確認された。一方、教員の介入や指導が効果的になされなかった学級では、『脅威的階層性学級を乗り越える自助・共助』努力をして乗り越える生徒もいることが確認された。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>○ 脅威的階層性学級（スクールカースト）から生徒を守る教員の姿勢・指導の探索的研究， 川崎 知己，単著，千葉商大紀要 第 60 巻第 2 号 47 頁—73 頁 2022 年 11 月</p> <p>【学会発表等】</p> <p>○ スクールカースト現象への教員の対応等について —現大学生の回顧的インタビューを基にM-GTA</p>					

を用いた質的研究— (単著) 日本学校心理学会第 24 回愛知大会 2022 年 8 月 オンライン (オンデマンド視聴とリアルタイム映像配信)

○ オンライン上で行うソーシャルスキルトレーニング・ヨガプログラムの実践及び工夫 —ソーシャル・エモーショナル・ヘルス・サーベイ (SEHS) を効果指標に用いて—飯田順子 川崎知巳 太田千端 (共著) 日本 LD 学会第 31 回大会 (京都) 2022 年 10 月

### 3. 主な経費

昨年改訂された知能検査、PDF 作成等をするためのパソコンソフト、主として境界知能に関する書籍を購入したほか文具等に使用した。

### 4. その他の特筆すべき事項 (表彰, 研究資金の受入状況等)

#### 【科学研究費】

・基盤研究 (B) : 令和 2 年度～令和 5 年度, 分担, 課題名「子どもの強みに着目したメンタルヘルススクリーニングによる学校全体支援モデルの構築」(20H01758)

#### 【その他の活動】

日本教育カウンセラー協会 評議員 (NPO 日本教育カウンセラー協会)

日本スクールカウンセリング推進協議会 研修委員 (一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会)

(本文は 2 ページ以内にまとめること)